

災害時に備蓄食料を届ける実証実験を実施します！

～移動スーパー等を活用した地域へのラストワンマイル課題解決を目指して～

千葉市では、地域課題解決の一手法としてシェアリングエコノミーを推進しており、その一環で災害時の物資供給を目的に、自治会の協力を得ながら、平時の物流を災害時に活用する実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 実施概要

(1) 目的

地理的な状況や高齢化等により、災害時に指定避難所まで災害用備蓄品を受け取りに行くことが困難な地域において、移動スーパー等の物流網が、市の災害用備蓄品の配送に有用であるか検証する。

(2) 物資配送先

いずみ台ローズタウン自治会館（若葉区多部田町752-22）

(3) 実施日

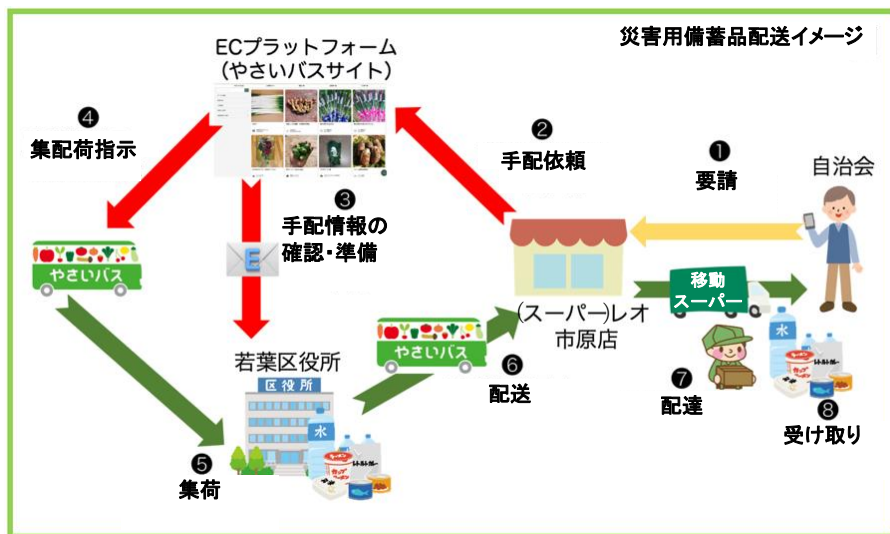
令和5年2月20日（月）9：00～13：00（荒天時は2月27日（月）へ延期）

(4) 配送物資（市災害用備蓄品）

- ・水500ml ペットボトル 912本(38箱)
- ・アルファ米 900パック(18箱)

(5) 実施内容・スケジュール

ECプラットフォーム（やさいバスサイト）の発注機能を活用し、スーパーを介在とした、やさいバスおよび移動スーパー車両の連携により、若葉区役所の災害用備蓄品をいずみ台ローズタウン自治会館へ配送します。



配送の流れ

時間	実施事項	場所
9時	自治会からの要請	自治会館
	↓	
	やさいバスが拠点倉庫の災害用備蓄品を集荷	若葉区役所
	↓	
	移動スーパー車両へ積み替え	レオ市原店
	↓	
13時頃	自治会館に到着	自治会館

(6) 実施体制

区分	所属	役割
実施主体	千葉市国家戦略特区推進課 (連携：防災対策課、若葉区地域振興課)	全体統括
受託事業者	株式会社ベジタスグループ	運営本部・事務局、 やさいバスの運行管理、配送
協力事業者	やさいバス株式会社	ECプラットフォームの管理
	宍倉株式会社 (スーパーレオ市原店・移動スーパーまごころ便)	移動スーパーの運行管理、配送
協力	いずみ台ローズタウン自治会	協力 (物資要請・受取)

(7) 検証内容

- ・ ECプラットフォームの災害時利用の有効性
- ・ 配送ルートの妥当性
- ・ 事業者間の災害用備蓄品の受け渡しや配送作業に係る課題
- ・ 関係者間の連絡体制等

2 取材について

(1) 取材申し込み

取材を希望する方は、2月17日(金)15:00までに、別紙1「取材申込書」に記載し、国家戦略特区推進課へメール (tokku.POF@city.chiba.lg.jp) でお申し込みください。

(2) 当日の集合等

令和5年2月20日(月)12:50(物資到着時刻)に、いずみ台ローズタウン自治会館へお越しください。

(3) その他

- ・ 物資到着時刻は交通状況によって前後する場合があります。
- ・ 悪天候の場合は、2月27日(月)に延期します。
※当日9:00時点で判断し、延期の場合のみ取材申込された方にご連絡します。

<参考>

1 やさいバスについて

「やさいバス」と名付けられた共同配送トラックが地域を巡回し、農産物を生産地から消費地へ直送する物流機能に加え、インターネット上で生産者から直接購入できるBtoB型ECプラットフォーム機能が一体となったサービス。野菜の産地と消費地をつなぎ、通常よりも早く新鮮な野菜を消費者へ届けられるしくみ。千葉市では毎週月～土に花見川区、若葉区、緑区の生産者を回り、千葉みなと、幕張エリアのスーパー等に配送している。

- ・ システム管理・運営 やさいバス(株)(静岡県牧之原市布引原1076-2)
- ・ 千葉エリア運行管理 (株)ベジタスグループ(千葉県館山市二子251)

2 本市の災害時物資供給のしくみ

本市では公立小中学校や高等学校、公民館などを指定避難所と位置づけ備蓄倉庫を設置し、初動対応の水や食料などを備蓄している。加えて、災害時に指定避難所で物資が足りなくなった場合に備え、各区数か所に拠点倉庫を設置し、指定避難所のバックアップ用の物資を備蓄している。災害時は指定避難所にて避難者に物資を配布し、不足した場合は連携協定を結ぶ千葉県トラック協会や大手物流会社の協力により、拠点倉庫から指定避難所まで物資を配送する。